

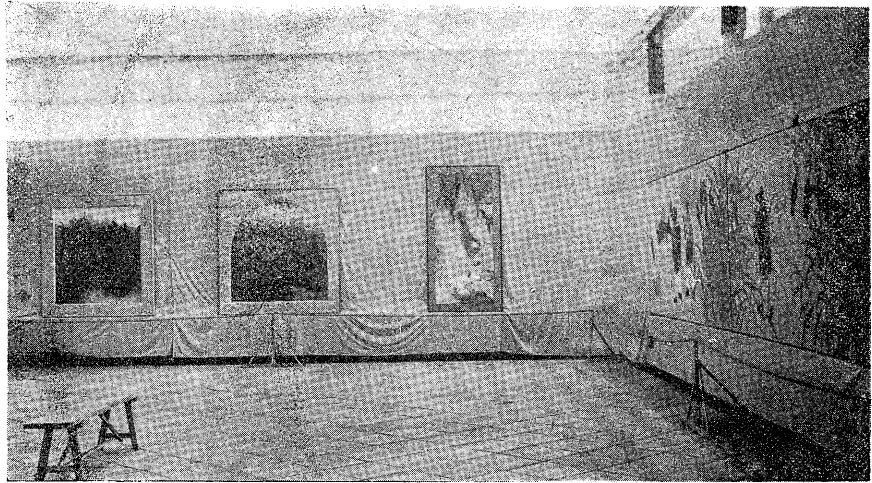
も佳品として推すべきも眞に氏本來の *coulyre* ならず。九里四郎氏に「海女」椿等あり。

日本美術院展覽會

概観

日本畫部。大體院の展覽會は日本畫が呼び物となつて世間の不分屋を騒がせるのであつたが、赤んぼも三年経てば三つとなるやうに近來稍描く人も觀る人も眞面目となつたと思ふ作品は總じて奇に走らず、眞摯な傾向を帯びて來た事は何よりである。大觀氏は種々の方面に於て卓越せる技巧

を示し觀山氏の「東坡先生」と相並んで院の先輩たる品位を傷けざる處に重味があり、恒富氏の「湯女」は陳列の場所よろしからざりしにもよるが、甚しく見劣りせられた。入選者としては近藤浩一路氏がある。美術學校洋畫科の卒業製作に東海道五十三次を描いた氏ではあり、其後積んだ邦風繪畫の描寫上の經驗が加はつて此等の作品が生れたのは驚異とするに足らぬ。吾人は此等の作品が逸品であると



日本美術院展覽會日本畫部の景光

云ふ事に強ひて不服を唱へる程旋毛まがりではないが、院にありて初めて氏の力を稱へる人の無智と浮薄を笑ひたい。小林古徑氏の「麥」はあかず眺める作品にはあらねど上品なる氣持妙へに現れたるを思ゆ。川端龍子氏の「土」はバナルな言葉ながら氣取つた作品であつた。

洋畫部。には新歸朝者にして新たに本院の同人たる足立源一郎氏の作品多數を見る。二科に出陳したる黒田重太郎氏の夫れよりも明かるい點に於て異なり、技巧からは黒田氏などの年輩でなきやうに觀取せられた。長谷川昇氏裸女を描き山本鼎氏町長 肖像を寫す。小杉未醒氏「老子」を描いて氏の未だ足らざる處を遺憾なく露はす。氏は好んで主題を支那の古哲人にとる、而かも漫然と得來るに於ては不可なしと雖も、既に「老子」を指す時は多少の研究を要す。何となれば印度の佛菩薩を描寫し彫刻せんと欲するものは造像の形式を踏襲して或るカノンの埒外に出づる能はざるが故に却て無理は尠ないが、列仙傳等の如きものに便りて支那の古人物を描出することは大に考へ物であらう。即ち單に繪畫なる所以を以て許すべからざるものあるが爲だ。眞道黎明、小川芋錢、山村耕花氏等其他同人并に院友の顔觸前回に大差あるを見ず。

彫刻部。美術院中に於て最も緊張せる部分であつて吾人が常に院の彫刻に重きを置き其作品の價值を充分アツプレシエするの義務を負はねばならぬと考ふる程同情がある。併し院の同人中にも彫刻とは何であるかと云ふことを知得せられぬ人達もないではない。勿論何れの方面に於ても玉石同架と云ふことは免れぬが、院に於ては特に其點が目立つ。中原悌二郎氏の如き石井鶴三氏の如き彫刻に生命を托して何物をも顧みない人達と、無智ながら世人に迎へられん

ことを唯一の望と製作して居る人がある。下村晴時氏の観音は近頃の尊像と拜まれ、佐藤朝山氏の「釋迦に幻はれたる魔王の女」は更に大に研究を要すべき作品たることを断言する。吉田白嶺平榊田中兩氏の作品の如き假令出陳を見ずとも、落膽する吾人に非ず。

美術新報

二科院展の批評

- 院展の日本書.....石井柏亭.....(時事)
- 院展を觀る.....金井紫雲.....(中央)
- 美術院展覽會.....(萬朝)
- 院展評(經濟的に見たる院展派)
- 日本畫家の製作態度).....津田青楓.....(國民)
- 院展評.....福井利吉郎.....(日々)
- 院展の西洋畫.....黒田重太郎.....(時事)
- 院展不評判記.....春山武松.....(東京朝日)
- 院展の洋畫.....高村眞夫.....(國民)
- 院展の日本書.....林田春潮.....(都)
- 美術院の洋畫.....坂崎坦.....(東京朝日)
- 院展の日本書.....里見淳.....(讀賣)
- 美術院展覽會の洋畫.....佐藤春夫.....(讀賣)
- 院展と二科の洋畫.....(萬朝)
- 院展彫刻の收穫.....内藤伸.....(時事)
- 院展新人を紹介す.....日本畫部.....川端龍子.....(讀賣)
-西洋畫部.....山本鼎.....(讀賣)
-彫刻の部.....戸張孤雁.....(同)
- 美術院の日本書.....赤木桁平.....(中央美術)
- 院展日本畫所感.....和辻哲郎.....(中央新聞)

- 院展の洋畫.....齋藤與里.....(中央新聞)
- 美術院の彫刻.....石川確治.....(同)
- 院展の日本書.....河野桐谷.....(藝苑)
- 院の彫刻.....大隅爲三.....(同)
- 院展日本畫觀.....高村眞夫.....(同)
- 院展の繪畫を評す.....川路柳虹.....(同)
- 二科會管見.....久米正雄.....(讀賣)
- 二科と院展の洋畫.....渡邊吉次.....(日々)
- 奇怪なる撤回問題.....川路柳虹.....(讀賣)
- 甲と乙との對話(院展と二科).....(中外商業)
- 今年の二科會.....有島生馬.....(讀賣)
- 二科の新人.....正宗得三郎.....(讀賣)
- 靜物と自畫像.....石井柏亭.....(讀賣)
- 二科會の洋畫.....高村眞夫.....(國民)
- 二科會評.....山田みのる.....(中央)
- 二科會の洋畫.....足立源一郎.....(時事)
- 方法に囚はれたる二科の繪.....齋藤與里.....(國民)
- 二科會を評す.....坂崎坦.....(東京朝日)
- 二科會一巡.....森口多里.....(都)
- 二會評.....大野隆徳.....(中央美術)
- 二科會の觀照.....渡邊吉治.....(同)
- 二科美術展覽會を觀る.....眞崎中太郎.....(藝苑)
- 二科院展諸評.....みづる.....

美術院新同人推舉

美術院評議員會は九月四日上野精養軒に各評議員出席の新同人推舉の事を議し、西洋畫部に足立源一郎氏、彫刻部に下村晴時氏を加へたり。